

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 簡易水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	簡易水道統合整備事業(大宇陀中央・東部)					
所管課	501	水道部総務課	(水道局)		宇陀市簡易水道事業特別会計予算			
事業の目的	心の森福祉ゾーン一帯は、丘陵地に位置していることから、中央簡易水道区域としては水圧・水量共に日常苦慮している状況にあり、一時的に南部簡易水道区域からの水により補充している。この地域周辺の水量、水圧不足を早期に解消するため中央・東部簡易水道を連絡管にて結び水道施設改善整備を行う。				区分 No.	区分名		
					款	1	総務費	
					項	2	施設整備費	
					目	1	施設整備費	
細目	10	施設整備費						
根拠条例等	水道法第15条							
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備							
H25年度事業の概要	舗装復旧工事 舗復旧面積 A=4,800㎡				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	平成22年3月に事業認可を得た中央・東部簡易水道区域は、ひとつ大宇陀簡易水道事業給水区域となった。福祉ゾーンとしての施設をより充実し安全・安心な水が安定して供給されるようになり、災害時の避難場所としての機能をもつ貯水槽も建設された。				使用料			
					国費	4,250		
					県費			
					市債	12,700		
					その他	50		
					一般財源			
					H25予算額	A	17,000	
					H24当初予算額	B	17,000	
H24現計予算額								
増減額	A-B							
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		18,395	17,001					
従事職員数【人工】		0.20	0.20					
人件費(人工×8,000千円)		1,600	1,600					
総事業費:人件費含む(千円)		19,995	18,601					
活動指標名		進捗率						
活動指標の算式		実施済事業費/全体事業費						
活動指標の実績		67.0	単位	%		83.0	単位	%
単位当たりコスト(円)		298,433	224,108					
事業の目標	心のもり福祉ゾーン一帯の水圧・水量不足の解消。南部簡易水道施設の稼働率を100%から正常な70%に戻す。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト 【生活基盤の整備】 (2)水道給水区域の拡大	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 簡易水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市第5受水池建設事業				
所管課	501	水道部総務課	(水道局)		宇陀市簡易水道事業特別会計予算		
事業の目的	奈良県水道局は、平成26年度に室生大野・三本松へ県営水道を送ることが現実となった。このことから室生川の水利権が自動消滅する暫定水利であることや、内山浄水場の老朽化に伴う大改造に多大な経費を費やす必要がなくなったこと等により、三本松に受水池を建設し県営水道に切替え、古大野飲料水供給施設と統合整備することとした。				区分 No.	区分名	
					款	1	総務費
					項	2	施設整備費
					目	1	施設整備費
細目	10	施設整備費					
根拠条例等	憲法25条及び水道法第15条						
総合計画	基本計画 第3章 第5節 上下水道の整備						
H25年度事業の概要	①受水池電気計装設備及び敷地内配管工事 市道復旧工事 L=523m				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	現在、宇陀川と室生川を原水として内山浄水場で水をつくり、三本松配水池にポンプ加圧して溜めています。これを県営水道の水源に切り替えることにより浄水場の運転経費及び維持管理経費削減につながります。古大野飲料水供給施設においてもこの給水区域と統合することにより、室生中央簡易水道区域として安全・安心な水が安定的に供給できる。				分担金	
使用料							
国費						17,725	
県費							
市債						53,000	
その他						5,359	
一般財源							
H25予算額						A 76,084	
H24当初予算額	B 155,000						
H24現計予算額							
増減額	A-B ▲ 78,916						
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	12,774	299,201	国庫補助金	17,725千円			
従事職員数【人工】	0.30	0.30	簡水債	26,500千円			
人件費(人工×8,000千円)	2,400	2,400	過疎債	26,500千円			
総事業費:人件費含む(千円)	15,174	301,601	基金繰入金	5,359千円			
活動指標名	進捗率						
活動指標の算式	実施済事業費/全体事業費						
活動指標の実績	2.1	単位 %	50.4	単位 %			
単位当たりコスト(円)	7,225,714		5,984,147				
事業の目標	簡易水道各施設の維持管理経費の削減。 宇陀市民が安心して暮らせる生活環境づくり。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト 【生活基盤の整備】 (2)水道給水区域の拡大	